

テーマ4 低炭素社会の構築

施策の柱4.1 「茅ヶ崎市地球温暖化対策実行計画」の推進

目標14

市域のCO₂排出量を令和2年度(2020年度)までに約1,492千tCO₂(平成2年度(1990年度)の80%)にします。

【目標担当課:環境政策課】

目標15

エネルギー使用量の削減に取り組んだ家庭・事業者の数を増やします。

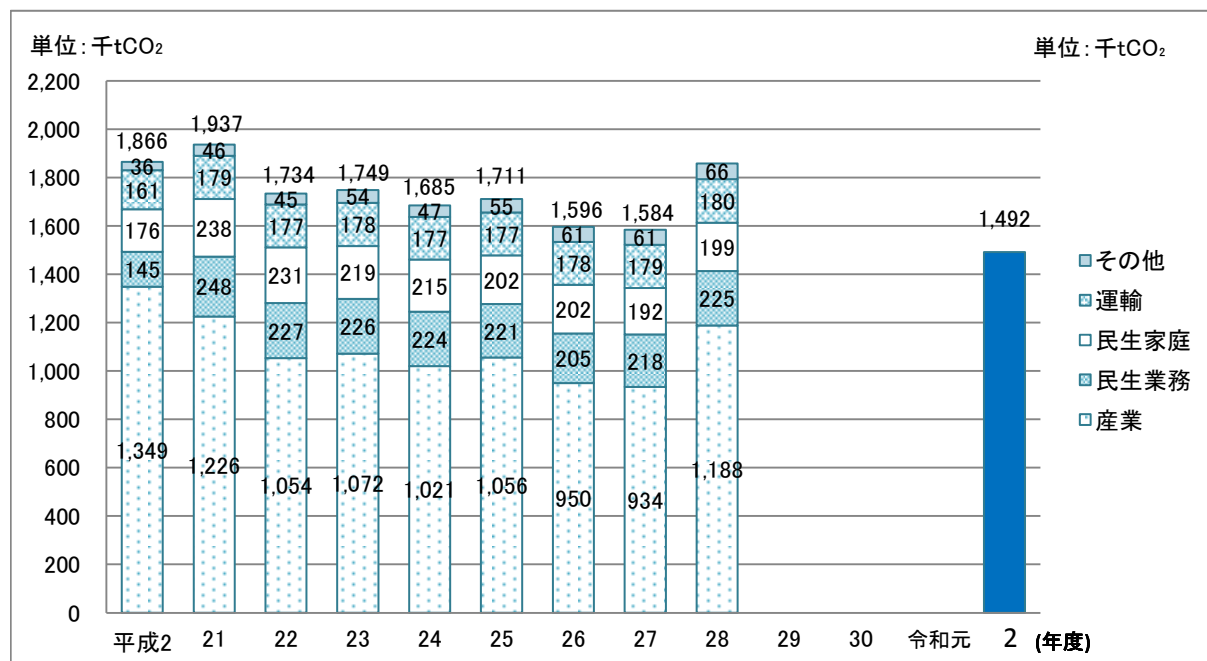
【目標担当課:環境政策課】

■目標14の進捗状況

	基準値 (平成2年度時点)	目標値 (令和2年度)	現状値 (平成28年度暫定値)
市域のCO ₂ 排出量 (基準値との比較) (変更後)	1,866千tCO ₂ (100%)	1,492千tCO ₂ (80%)	1,859千tCO ₂ (99%)

*市域のCO₂排出量は毎年資源エネルギー庁が公表する「都道府県別エネルギー消費統計」を用い算出していますが、平成26年度の公表分から統計データの各種の精度改善措置を講じることを理由に過去に遡って2年度から25年度までのデータが修正されたことを受け、当該年度のCO₂排出量を再計算し基準値及び目標値を変更しました。

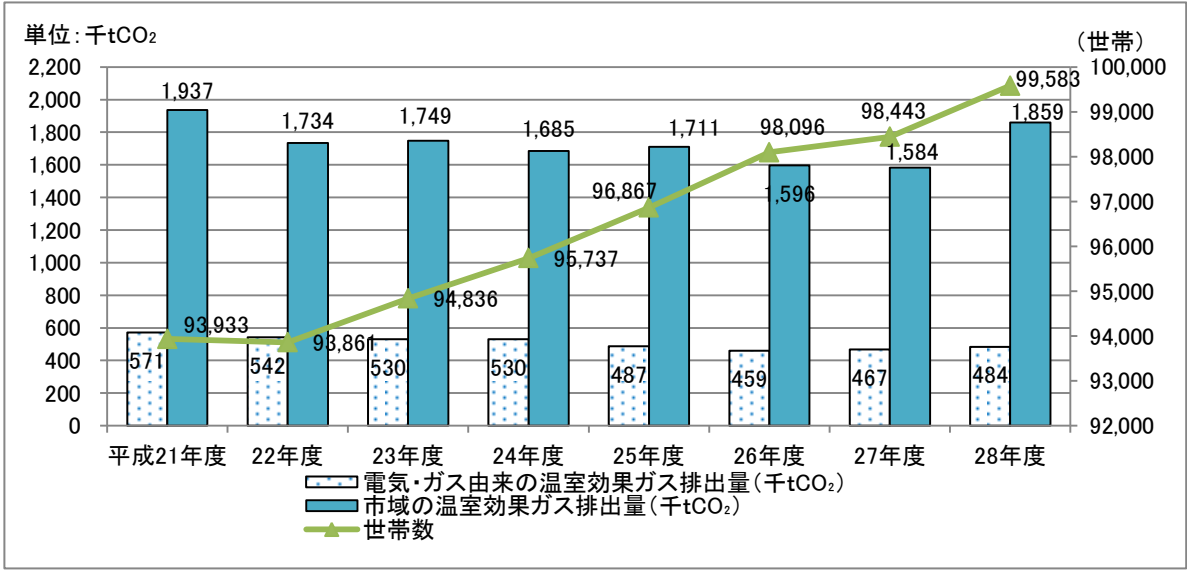
なお、今回の変更にあたって基準値に対する目標値の削減率(20%)は変更しておらず、地球温暖化対策実行計画におけるCO₂排出削減目標の達成に向けた各種施策の方向性についてはこれまでと変わりありません。



*電気の排出係数は、環境省発表の平成21年度実排出係数(0.000384)を使用し算出しています。

*市域の二酸化炭素(CO₂)排出量は「都道府県別エネルギー消費統計」(資源エネルギー庁より公表)を基に算出しており、この統計データの最新年度が平成28年度のものとすることから、市域のCO₂排出量データの最新年度も28年度となります。

(参考)電気・都市ガス由来の温室効果ガス(※)排出量



■目標15の進捗状況

● 月毎のエネルギー(電気)使用量を前年度よりも削減できた世帯数(※1)

	29年度		30年度		削減できた割合 の前年度比	(参考)気温の前年比(※2)	
	削減できた世帯数 ／データ数	削減できた割合	削減できた世帯数 ／データ数	削減できた割合		日平均	日最高平均
7月	51 / 77	66.2%	26 / 50	52.0%	減少	0.7	0.5
8月	51 / 74	68.9%	11 / 45	24.4%	減少	1.1	1
9月	28 / 65	43.1%	10 / 42	23.8%	減少	0	-0.4
累計	130 / 216	60.2%	47 / 137	34.3%	減少		

※1 平成29年度、30年度に提出された「夏の省エネコンテスト」から、電気使用量について前年度との比較ができるデータを抽出し集計しています。

※2 気象庁ホームページより。測定値は辻堂。単位は度。

■概要

- ・家庭・事業所における自主的かつ効果的な地球温暖化防止の取り組みを促すため、市のホームページ等を通じて、省エネや新エネルギー(※)の利用に関する情報を定期的に発信します。
- ・省エネナビ等の省エネツールの利用を継続的に普及推進します。
- ・市で導入した電気自動車を活用し市民意識の向上を図るとともに、事業者との連携・協力のもと、電気自動車の普及に向けたインフラ整備、燃料電池自動車(※)(水素自動車)等の普及を図ります。

■平成30年度の取り組み

(1) 家庭や事業所に対する、省エネや新エネルギーの利用に関する情報発信

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
ポータルサイト「ちがさきエコネット(※)」を活用した情報発信	・エコファミリー登録世帯の増加を目指し、夏の省エネコンテストや市広報紙、タウンニュース等への記事掲載、各種イベント等でのちらしの配布、ちがさき環境フェアへの参加等で制度の周知を図った結果、登録世帯数は平成29年度末291世帯から424世帯となりました。 ・平成29年度に引き続き、みどりのカーテンの配布事業の受け付けをちがさきエコネットで実施したほか、みどりのカーテン写真投稿キャンペーンを開催しました。	ちがさきエコネット事業 予算額【1,128千円】 決算額【1,091千円】	環境政策課
省エネルギーを目的としたコンテストの実施	・電気の使用量が増える夏場(7～9月)の御家庭の省エネルギー化を図るため、「夏の省エネコンテスト」を実施しました。 ・例年、夏と冬の「省エネコンテスト」を実施してきましたが、気候状況によって参加率が大きく変わってしまうイベントとなっていたため内容を見直し、冬季(2月)に新たなイベントである「冬の省エネ1か月チャレンジ宣言！」を実施しました。		
「ちがさき環境フェア」の開催	・平成30年10月20日に環境フェアを開催しました(出展・協力団体64団体、来場者約2,000人)。市民団体や事業者による「環境展」や燃料電池や電気自動車について学ぶ「おもしろ環境教室」、LED(※)について学ぶワークショップ等により、省エネルギーや新エネルギーに関する情報発信を行いました。	環境フェア開催事業 予算額【1,055千円】 決算額【892千円】	
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信	・「広報ちがさき」(7月15日号)の1面特集記事で、夏の省エネに関する記事を掲載しました。	市民・事業者・市との環境活動連携支援事業 予算額【70千円】 決算額【0千円】	
市民と連携した講座等の実施	・平成30年6月30日に「かながわSDGs実行委員会」が開催したSDGsの普及啓発を目的としたフォーラム、10月28日に「NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク」が開催した自然エネルギーの普及啓発を目的とした映画上映会について後援しました。 ・平成30年9月8日に「神奈川県地球温暖化防止活動推進センター」が開催した温暖化防止に関する市民講座について湘南エコウェーブ(※)(2市1町湘南広域都市行政協議会)より後援しました。	環境学習支援事業 予算額【182千円】 決算額【127千円】	
子どもを対象とした環境に関する講座等の実施	・省エネや環境に配慮した料理方法を学ぶことができる「エコ・クッキング教室」を東京ガス(株)横浜ショールームのクッキングスタジオで開催し、18名の方に御参加いただきました。 ・松林地区地域包括支援センターくるみと松林公民館共催の「松林赤とんぼクラブ」にて、「お役立ち小話『地球温暖化と家庭の省エネ』」を開催し、38名の方に御参加いただきました。		

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
2市1町広域連携による啓発活動	・12月の地球温暖化防止月間に、湘南エコウェーブで作成した地球温暖化防止月間啓発用横断幕を茅ヶ崎駅北口に掲示しました。 ・市民への啓発活動の一環として、ソーラーLEDライトキーホルダーを作成し、「ちがさき環境フェア」の来場者へ配布しました。	省エネルギー及び地球温暖化対策に対する普及啓発事業 予算額【476千円】 決算額【434千円】	環境政策課
環境バスツアーの実施(2市1町広域連携事業)	・親子環境バスツアーで「横須賀市リサイクルプラザアィクル」「クリクラ中央研究所」を、秋の環境バスツアーで「酒匂川流域下水道左岸処理場」「アサヒビール神奈川工場」を見学し、リサイクルの流れや工場の省エネルギーの取り組みなどを学びました(親子環境バスツアー参加者37名<茅ヶ崎市参加者12名>、秋の環境バスツアー参加者35名<茅ヶ崎市参加者11名>)。		
みどりの保全セミナーの実施(2市1町広域連携事業)	・日本大学生物資源科学部に協力いただき、小学生を対象とし、みどりの保全セミナーを行いました。地球温暖化防止に関する森林の役割や森林と生物の暮らしに関係について学び、演習林で森林環境や生物を観察しました(参加者42名<茅ヶ崎市参加者8名>)。		
地球温暖化、省エネルギーに関するアンケート調査	・無作為抽出した市民2,000人を対象に実施し、結果をホームページにて公表する予定です。回答数は720件、回収率は36.0%でした。 ・無作為抽出した事業者1,000社を対象に実施し、結果をホームページにて公表する予定です。回答数は303件、回収率は30.3%でした。		

(2) 省エネツール利用の継続的な普及推進

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
省エネナビ、エコワットの貸出	・広報紙、ホームページ、タウンニュース及び展示会にて利用の周知活動を行いました。 ・エコワット貸出者からアンケートを提出していただき、使用した感想をホームページに公表しました。 ・省エネナビの貸出件数は4件、エコワットの貸出件数は18件でした。	省エネルギー及び地球温暖化対策に対する普及啓発事業 予算額【476千円】 決算額【434千円】	環境政策課
緑のカーテン(※)用苗の配布	・市民222世帯に配付しました(ちがさきエコネットでの申込149世帯、1世帯3株。電話・FAXでの申込73世帯、1世帯2株)。 ・苗配布後にみどりのカーテンに取り組んだ世帯を対象として、ちがさきエコネットで「みどりのカーテン写真投稿キャンペーン」を実施し、13世帯から写真投稿がありました。		
環境家計簿の提供	・「ちがさきエコネット」では、エコファミリー会員向けに「環境家計簿」ページを公表しています。「環境家計簿」では、電気、ガス、水道、その他燃料などの使用量を入力することで、ご家庭のCO₂排出量をグラフにして見える化することができます。	ちがさきエコネット事業 予算額【1,128千円】 決算額【1,091千円】	

(3) 電気自動車等を活用した市民意識の向上

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
電気自動車等試乗会の実施	・環境フェアにて、民間事業者にご協力いただき、電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリット自動車等の次世代自動車の展示を行いました。また、屋外会場の電力の一部を電気自動車のバッテリーから供給する様子の展示も行いました。また、子ども向けの「おもしろ環境教室」で事業者のご協力により電気自動車について学ぶ教室を開催し、電気自動車の展示とも連携させ理解を深めました。試乗会については、チャイルドシートを必要とする子どもへの対応が困難なため実施を見送りました。	環境フェア開催事業 予算額【1,055千円】 決算額【892千円】	環境政策課
電気自動車用急速充電器の活用による普及支援	・茅ヶ崎第1・第2駐車場に設置している急速充電器を無料開放することで、電気自動車の普及を支援しています。	省エネルギー及び地球温暖化対策に対する普及啓発事業 予算額【476千円】 決算額【434千円】	

※事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
・地球温暖化防止に向け、環境ポータルサイト「エコネット」の運用、「環境講座」など、多様な方法を駆使して、啓発活動に取り組みました。 ・事業者の協力を得ながら、「環境フェア」や「エコクッキング教室」等の事業を実施したほか、2市1町で連携した小学生向けのセミナーでは、日本大学にご協力をいただき、さまざまな主体のご協力を得て環境教育を実施することができました。 ・みどりのカーテン実施者アンケートでは、みどりのカーテンによる室温上昇の抑制を実感できたと回答した世帯が51.7%、温暖化対策への意識の変化があったと回答した世帯が71.6%となり、取り組んだ世帯の多くにとってみどりのカーテンが省エネに取り組むきっかけとなったことが伺えました。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題	
・地球温暖化防止には、市民や事業者等に、具体的な取り組みを進めていただくことが不可欠です。継続的、かつ、効果的に取り組んでいただくために、啓発活動の内容、対象、周知方法など、工夫しながら実施していく必要があります。	

■概要

・家庭、事業所におけるトップランナー機器、省エネ機器、新エネルギー利用設備、電気自動車等の導入・利用に対する補助金給付等を実施し、省エネルギーの推進及び新エネルギーの導入拡大を図ります。

■平成30年度の取り組み

(1) 家庭・事業所における省エネ機器や新エネルギー利用設備、電気自動車の導入等に対する補助事業

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
商店街街灯LED化に対する補助事業	・1商店会の街路灯39基のLED化の事業費に対し、2分の1の補助を行いました。	商店街振興支援事業 予算額【17,830千円】 決算額【15,463千円】	産業振興課
太陽光発電普及啓発基金を活用した団体・事業者向け太陽光発電設備設置補助事業	・基金を活用し、太陽光の普及啓発を図る事業の一部を補助する制度の運用を開始するため、補助要綱案の作成を進めました。平成30年度中の事業開始を予定していましたが、補助対象者や補助対象事業の調整に時間を要したため、次年度の開始を予定しています。	太陽光発電設備 普及啓発事業 予算額【2,000千円】 決算額【0千円】	環境政策課

(2) 太陽光発電に関する新たな事業の展開

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
太陽光発電クレジット制度の周知と参加者募集	・茅ヶ崎おひさまクレジット事業(※)をNPO法人ちがさき自然エネルギーネットワークと協力して実施しました。 ・平成30年10月開催のちがさき環境フェア2018で来場者1人1kgのカーボンオフセット(※)にクレジット3t-CO ₂ を活用していただきました(活用事業者名: ㈱オーテックジャパン)。この取り組みはタウンニュースに掲載され幅広い世代にPRすることができました。 ・平成30年12月開催の湘南国際マラソンでランナーが着替えを入れるエコ袋のカーボン・オフセットに5t-CO ₂ を活用していただきました(活用事業者名: ㈱湘南貿易)。	太陽光発電クレジット事業 予算額【80千円】 決算額【80千円】	環境政策課

※事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
・太陽光発電設備普及啓発基金を活用し、太陽光の普及啓発を図る事業の一部を補助する制度の運用を開始するため、補助要綱案を作成し、次年度の運用開始の準備を整えました。 ・NPO法人と連携しながら取り組んだ「茅ヶ崎おひさまクレジット事業」では、蓄積されたカーボンオフセットを、㈱オーテックジャパン及び、㈱湘南貿易に活用していただき、新エネルギーの導入から環境価値の創出に至る過程によるインセンティブを、市民と事業者で共有していただくことができました。	B
課題	A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
・電気自動車購入補助事業については平成29年度で終了としたことから、新たな支援策の導入が課題となっています。 ・国のJ-クレジット事業に参加している茅ヶ崎おひさまクレジットは、プロジェクトの認証対象期間が令和2年度で終了するため、その後の事業展開が課題となっています。	

■概要

・行政活動に伴うエネルギー消費や温室効果ガスの排出削減に向け、高効率照明器具や電気自動車の導入、夏季における緑のカーテン実施、新たな施設の建設における省エネ機器等の設置など、新技術を積極的に導入します。

■平成30年度の取り組み

(1) 行政活動に伴うエネルギー消費や温室効果ガスの排出削減に向けた新技術等の導入

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
防犯灯事業におけるLED灯具の設置及び維持管理	・ESCO事業(※)の活用により、各自治会からの要望を受け、LED防犯灯90灯を新設するとともに、すでにLED化された防犯灯の維持管理を継続して行いました。	LED防犯灯の設置及び維持管理による防犯対策事業 予算額【65,327千円】 決算額【61,063千円】	安全対策課
ごみ焼却炉から発生する熱の有効利用	・ごみ焼却施設で発生した蒸気を利用し、最大3,000kW発電することでセンターの電力を賄うとともに、余剰電力は売電しました。平成30年度は20,921,642kWh発電し、そのうち売電した電力は12,722,666kWh、売電額は149,038,656円(1ヶ月約1,200万円)でした。発生した熱エネルギーは、環境事業センター内の給湯や冷暖房のほか、茅ヶ崎市温水プールでも利用しています。	ごみ焼却処理施設余熱利用による売電(行革重点推進事業名) 予算額【118,186千円】 決算額【149,038千円】	環境事業センター
特定規模電気事業者(PPS)の活用促進	・市内公共施設の44施設において、一般競争入札により決定した事業者(㈱F-Power)と平成30年10月から2年間の電力調達調達契約を締結しました。 ・市内の雨水ポンプ場7施設において、一般競争入札により決定した事業者(エネサーブ㈱)と平成30年7月から2年間の電力調達調達契約を締結しました。 ・茅ヶ崎市では電力調達に関する入札に際しては、温室効果ガス排出削減の観点から、「茅ヶ崎市電力の調達に係る環境配慮実施要綱」に基づく環境評価基準を満たした電気事業者のみが参加できる裾切り方式を採用しています。	環境マネジメントシステム推進事業 予算額【517千円】 決算額【511千円】	環境政策課
公共施設への省エネ機器等の導入促進	・平成31年1月に供用開始した「茅ヶ崎公園体験学習センター」において、太陽光発電設備(10kW)、深夜電力蓄熱型空調設備を導入したほか、屋上や壁面等の緑化を行いました。 ・「茅ヶ崎公園体験学習センター」ほか市内公共施設(13施設)において、2,259灯のLED照明を導入しました。 ・市内公共施設(環境事業センター、松林公民館、南湖公民館、海岸青少年会館、松林ケアセンター、老人憩の家菰園いこいの里、柳島記念館)において、緑のカーテンを実施しました。	小学校施設整備事業 予算額【369,275千円】 決算額【90,485千円】	教育施設課
	・市内小学校(3校)、中学校(1校)において、474台のLED照明を導入しました。 ・市内中学校(13校)において、高効率空調室外機を導入しました。	中学校施設整備事業 予算額【120,109千円】 決算額【80,700千円】	

※事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
・平成31年1月供用開始の「茅ヶ崎公園体験学習センター」は、屋上に太陽光発電設備を設置し、今後、エネルギーの有効活用を図りながら運営することができる施設として開館しました。 ・小・中学校をはじめとした市内公共施設においてLED照明を導入し、省エネルギー化を図りました。 ・小・中学校への空調設備の導入にあたっては、高効率空調機器を選定し、省エネルギー化を図りました。 ・環境事業センターの基幹改良工事は、平成29年度に完了し、30年度は1日あたりの消費電力量が減少する一方、発電電力量が増加し、CO₂の削減につながりました。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題 ・今後設置を検討する公共施設等について、時期を捉えながら、省エネ機器等の導入を推進していく必要があります。	



「茅ヶ崎公園体験学習センター うみかぜテラス」
(平成31年1月5日オープン)

施策の柱4.2 交通行政における温室効果ガスの排出削減

目標16

市民1人あたりの年間公共交通利用回数を令和2年度(2020年度)までに455.5回にします。

【目標担当課:都市政策課】

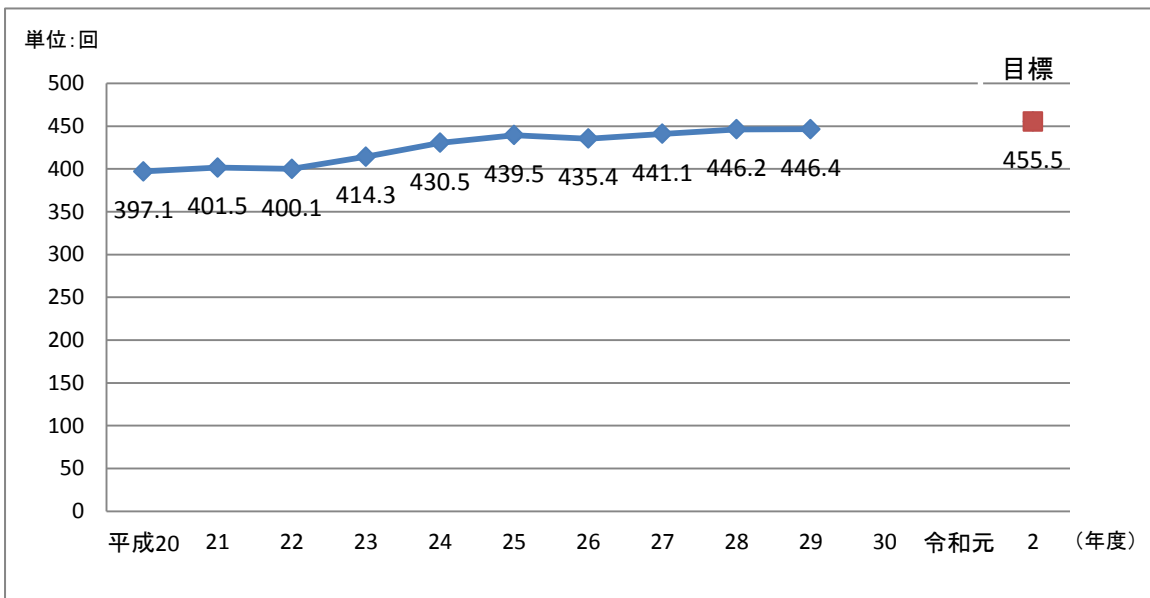
*市民1人あたりの年間公共交通利用回数:鉄道、路線バス、コミュニティバスの利用者数をその年度の人口で割ることにより算出します。

*鉄道利用者数はJRの各駅(茅ヶ崎駅、北茅ヶ崎駅、香川駅、辻堂駅)の乗降者数であり、本市以外からの利用者も含んでいます。

■目標16の進捗状況

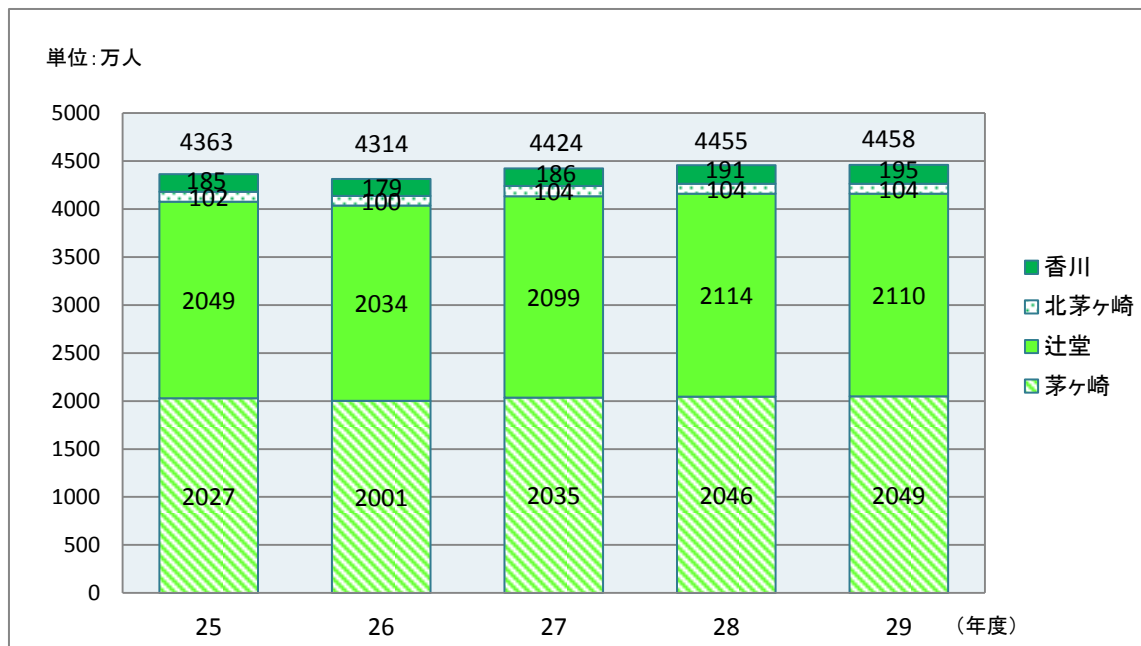
●市民1人あたりの年間公共交通利用回数

年度 (平成)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
回数	430.5回	439.5回	435.4回	441.1回	446.2回	446.4回



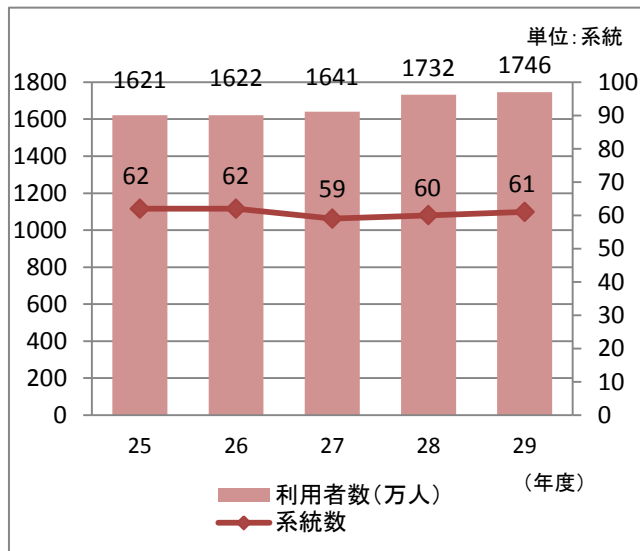
(参考)鉄道の利用状況(平成29年度)

茅ヶ崎駅	辻堂駅	北茅ヶ崎駅	香川駅
約2,049万人	約2,110万人	約104万人	約195万人



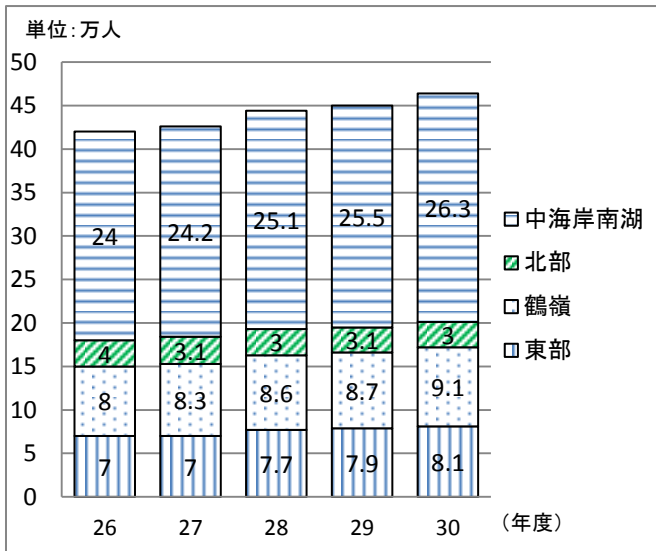
路線バスの利用状況(平成29年度)

利用人数	1,746万人
路線数	61系統



えぼし号の利用状況(平成30年度)

路線	東部	鶴嶺	北部	中海岸南湖
利用者数	8.1万人	9.1万人	2.9万人	26.3万人



■概要

・自家用車の利用を抑制し交通に伴う温室効果ガス排出量を削減するため、乗合交通を利用しやすい環境づくりに努め、快適な公共交通機関ネットワークを整備します。

■平成30年度の取り組み

(1) 乗合交通を利用しやすい環境づくりに向けた公共交通機関ネットワークの整備

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
ノンステップバスの導入(事業者に対する要望)	・移動等円滑化の促進に関する基本方針の基準を満たすため、平成29年度に事業者に対し積極的な導入を要望したところ、今後の導入は全てノンステップバスとするという回答がありました。	乗合交通整備計画 推進事業 予算額【1,749千円】 決算額【1,564千円】	都市政策課
地域公共交通の利用促進、運行改善(ルート、本数、バス停環境等)	・コミュニティバスの利用促進のため、ふれあい祭りでバスを展示しました。 ・利用人数を鑑み、鶴嶺南コースの第1便のスタートを市立病院から環境事業センターに変更しました。 ・予約型乗合バス(※)の利便性拡大のために、乗合所を3箇所(窪島医院・南大平3病院・ミニストップ茅ヶ崎堤店)を新設しました。 ・停留所の修繕を行いました。		
サイクルアンドバスライド(※)の整備及び適正管理	・既存施設の適正管理(見回り、放置自転車撤去等)を行いました。	ちがさき自転車プラン 推進事業 予算額【6,073千円】 決算額【4,230千円】	

※事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
・「茅ヶ崎市総合交通プラン」を踏まえ、コミュニティバスのコース変更や乗合所の新設、停留所の修繕を行い、乗合交通を利用しやすい環境づくりを行うことができました。	B
課題	
・急速に進む高齢化に対応するため、「将来利用する可能性がある高齢者等への乗り方案内」等、公共交通の利用環境を整えていく必要があります。また、コミュニティバスの利用促進のため、さらなる啓発が必要です。	A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)

■概要

- ・歩行者の安全と自転車利用の利便性・安全性向上を図り、自家用車の使用抑制を図ります。
- ・レンタサイクル(※)事業について、今後の事業継続実施に向けた検討を行っていきます。
- ・サイクルアンドバスライドについて、施設の適正な維持管理を行い利便性の向上を図ります。

■平成30年度の取り組み

(1) 歩行者の安全、自転車利用の利便性・安全性向上

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
道路改良工事(市道5563号線)	・市道5563号線から県道45号線へ円滑な自動車交通を確保するため、市道に右折車線を設置し、南側に歩道を設置しました。	本庁舎跡地周辺整備事業 (道路事業) 予算額【85,046千円】 決算額【78,866千円】	施設再編 整備課
自転車利用ルールの周知	・自転車ルールの遵守やマナーアップに向けた取り組みとして、小学校、中学校、高校、高齢者、事業者等における交通安全教室や、市営自転車駐車場での夜間無灯火自転車撲滅及び自転車施錠(ダブルロック)のキャンペーンなどの各種啓発活動を実施しました。	交通安全教育及び 啓発等事業 予算額【8,930千円】 決算額【7,766千円】	安全対策課
民設自転車駐車場に対する補助 金交付の情報提供と開設促進	・ホームページにて民営自転車駐車場の補助制度を掲載しています。また、自転車駐車場の開設相談に来た民間業者へ、茅ヶ崎駅南口に自転車駐車場の需要が大きいこと等を情報提供し、開設の促進を行いました。	自転車駐車場管理運営及 び施設整備事業 予算額【62,384千円】 決算額【62,383千円】	
公設自転車駐車場設置に向けた検討	・民間自転車駐車場の閉鎖や新設等、利用状況の動向をに着目し、必要となる自転車駐車場の規模等の検討を行いました。		
既存の公設自転車駐車場の維持 管理と利便性向上	・新栄町第一自転車駐車場及び新栄町第二自転車駐車場に防犯カメラを設置しました。 ・幸町自転車駐車場のサイクルベアの交換を行いました。 ・新栄町第三自転車駐車場においてチャイルドシート付の自転車等が駐車しやすいよう、上段ラックを一部取り外しました。 ・その他、点検及び修繕を随時行い、維持管理と利便性向上に努めています。		
視覚障害者誘導ブロック設置工 事	・翌年度へ繰越したため実施はありません。	道路舗装修繕事業	道路管理課
歩車道段差解消工事	・翌年度へ繰越したため実施はありません。	予算額【118,307千円】 決算額【0千円】	
歩道切下げ部改良工事	・翌年度へ繰越したため実施はありません。		
歩道設置工事(市道0110号線)	・歩道設置工事として延長L=196mの整備を実施しました。	市道0110号線 歩道整備事業 予算額【64,648千円】 決算額【56,016千円】	道路建設課
道路改良工事(香川甘沼線)	・道路改良工事として延長L=93mの整備を令和元年9月の完成を目指し進めています。	香川甘沼線道路 改良事業 予算額【40,591千円】 決算額【15,628千円】	

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
自転車走行空間の整備	・平成30年度は第2次ちがさき自転車プラン(平成26年度～令和5年度)の目標年次までの中間年にあたることから中間評価を実施しました。中間評価の結果、自転車走行空間整備の分野が計画どおりに進んでいないことから、整備費が不足する状況において効果的な方法を検討することとしました。	ちがさき自転車プラン 推進事業 予算額【6,073千円】 決算額【4,230千円】	都市政策課

(2) レンタサイクル事業の実施と新たな取り組みの検討

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
関係団体との協働によるシェアサイクル事業の検討・実施	・平成30年度は第2次ちがさき自転車プラン(平成26年度～令和5年度)の目標年次までの中間年にあたることから中間評価を実施し、引き続きシェアサイクル事業の検討を進めていくこととしました。	ちがさき自転車プラン 推進事業 予算額【6,073千円】 決算額【4,230千円】	都市政策課

(3) サイクルアンドバスライド事業における施設の適正な維持管理と利便性向上

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び平成30年度事業費	担当課
適正な維持管理と地域の需要に応じた設置検討	・既存施設の適正管理(見回り、放置自転車撤去等)を行いました。	ちがさき自転車プラン 推進事業 予算額【6,073千円】 決算額【4,230千円】	都市政策課

※事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
・民設自転車駐車場の開設促進のため、民設自転車駐車場に対する補助金交付の情報提供を行うことができました。 ・自転車利用の安全性を確保するため、交通安全教室等の自転車利用ルールの周知を行うことができました。	B
課題	A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
・人身事故の自転車に関する事故の割合は依然として高く、自転車利用の促進に併せ、引き続き自転車ルールの遵守・マナーアップに向けた取り組みをさらに強化する必要があります。	